



ご自由にお持ちください

# みんなのみなと

「みんなのみなと」は皆さんにとって身近な病院になりたい、皆さんと職員が一つになってこの病院を作っていきたいという思いで命名しました。



**病院の理念** 人道・博愛の赤十字精神のもと、患者中心の良質な医療を提供して、地域の健康増進に貢献する。

今号の表紙は、令和2年（2020年）2月、横浜港に停泊中の大型クルーズ船に派遣された当院のDMAT隊員たちです。

あれから1年、未だ終息の兆しを見せない新型コロナウイルス感染症。

皆さんからの応援を胸に、全職員が一丸となってこの困難を乗り越えます。

## 巻頭特集

# 院長・看護部長メッセージ

ちよっともの忘れが多くなったかなと思ったら…「プチもの忘れ」外来へ

第19号

病院  
広報誌



## 前向きな心で、 患者さんの気持ちに寄り添った 看護を実践します



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、このような大変な時世に、多くの企業様、個人様から当院への励ましのお言葉をはじめ、マスク等医療物資のご寄付や飲食料等お心遣いのお品をいただきました。

皆さまからの暖かいご支援に対し、この場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

新型コロナウイルスへの対応が長期化し、医療崩壊のニュースを多く見聞きしています。皆さまも不自由で不安な日々をお過ごしかと思います。

職員も疲労が増していますが、患者さんの側でケアする私たちは、心身共に元気でなければなりません。特に、心のストレスとどのように向き合い、上手に対応していくかが大切です。

約1年の間、職員は昼食の時間も対面や会話を避け、孤独になりがちです。そのような中、皆さまからの励ましが頑張りの源となっています。

休日も外出がままならない状況ですが、専門知識を深める時間にし、スキルを高め、患者さんの気持ちに寄り添った看護ができるよう、前向きな心を持ち続けたいと思います。

これからも、皆さまから応援していただける病院を目指したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

2021（令和3）年1月  
横浜市立みなと赤十字病院  
看護部長 間瀬 照美

## 新型コロナウイルス感染症と 向き合いながら、 質の高い医療を提供し続けます



日頃より、横浜市立みなと赤十字病院に多大なるご支援とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

昨年2020年は、新型コロナウイルス感染症によって、社会全体が一変した年でした。たった1年前は、今般の「コロナ禍」の状況は想像もできず、医療を取り巻く状況も激変しました。

当院では、昨年2月初旬に大型客船に乗船していた患者さんを受け入れて以来、新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れ続けています。

以降、昼夜問わず、感染症対応と通常診療を維持しています。

これからも「市民のための市立病院として、さらに、人道・博愛の赤十字精神に基づいて医療活動を行う赤十字病院として、使命を全うすること」。この決意は、変わりません。

本年も、良質な医療の提供と、地域の皆さまの健康増進に貢献するため、全職員が一丸となって邁進してまいりますので、皆さまどうか宜しく願い申し上げます。

2021（令和3）年1月  
横浜市立みなと赤十字病院  
院長 伊藤 宏



## その物忘れ、「まだ大丈夫」と放置しないで

実は「もの忘れ」とひとりで言っても、正常圧水頭症、甲状腺機能低下症、ビタミン欠乏症、慢性硬膜下血腫などといった治療可能な病気が数多くあり、初期の段階から正しく診断することが非常に重要です。

一方で、神経変性疾患と呼ばれるアルツハイマー型認知症、レヴィー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症などの病気は、現在も根本的に治すお薬はありません。色々な検査を組み合わせで診断しますが、確実な診断方法は、お亡くなりになった後の病理解剖しかないのが現状です。

そしてその正しい診断のみが、新しいお薬の開発に役立つのです。

### 「もの忘れ外来」のかかり方

「もの忘れ外来」は現在、脳神経内科（月・木：最大10枠）

精神科（月・火・水・金：各1枠）が担当しています。



認知症の症状は、記憶障害（今言ったことを忘れる）・見当識障害（月日が分からなくなる）・遂行機能障害（今までできたことができなくなる）といった中核症状と、不安・抑うつ・妄想・多動などの周辺症状に大別されます。

当院の受診をご希望の際は、まず、地域のかかりつけ医から当院宛ての紹介状をいただいでください。

● 通常のもの忘れ全般の鑑別診断は、脳神経内科 宛て ☎045-628-6365

● 周辺症状が特に目立つ患者さんは、精神科 宛て ☎045-628-6372

※ 地域医療機関からの予約は、医療連携課（☎045-628-6365）でお取りします。

認知症と診断されたあとは、必要に応じて投薬を開始し、地域の医療機関やクリニックの「かかりつけ医」の先生方と「2人主治医制」を導入します。

これは、処方のかかりつけ医で継続しながら年1回、認知機能検査や画像検査の経過観察のために、当院もの忘れ外来で再受診する体制です。

診断後の医療相談は、精神保健福祉士・認知症看護認定看護師などが地域包括支援センター等と連携してサポートします（療養・福祉相談室 平日9時～16時 ☎045-628-6761）。

また、当センターでは、市民公開講座などでの社会啓発も行っていく予定です。

詳細は、当センターのホームページをブックマークして、適宜ご覧ください。



### 当院は「認知症疾患医療センター」に指定されています

当院は令和2年12月1日、認知症専門医療の中核を担う医療機関として、横浜市から認知症疾患医療センターの指定を受けました。

当センターは、認知症の患者さんとそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう医療機関や介護機関、行政等と連携を

図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等をお受けし、地域保健医療・介護関係者等への研修等も行います。



ちょっともの忘れ多くなったかなと思ったら…

## 「プチもの忘れ」外来へ



### 認知症とは…

認知症とは、正常に発達した認知機能が後天的な脳の障害により持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態のことを指します。

高齢化率28.4%の超高齢化社会である我が国では、現在65歳以上の約15%である約460万人が認知症を患っているとされ、2025年には約20%（約5人に1人が認知症）にまで増加すると見込まれています。

次のような症状が少しでもある場合は医療機関への受診を躊躇せず、できるだけ早期に適切な診断を受けて、今後の治療方針を立てることが重要です。

当院は2020年12月、横浜市から認知症疾患医療センターの指定を受けて、中区・西区エリアの認知症専門診療に携わっています。

「みなと」認知症疾患医療センターでは、「プチもの忘れ」に力を入れて診療しています。



「みなと」認知症疾患医療センター長／脳神経内科部長

### 大久保 卓哉（おおくぼ たくや）

東京医科歯科大学医学部医学科・同大学院卒業、医学博士。

国保旭中央病院、都立墨東病院等勤務、University of California, San Diego (UCSD) 神経科学分野留学、東京医科歯科大学医学部附属病院脳神経内科講師を経て、2020年4月から横浜市みなと赤十字病院入職。

専門分野はALSや認知症などの神経変性疾患、神経感染症、神経免疫疾患。

### こんな症状はありませんか？

- 同じことを何度も言ったり、尋ねたりするようになった
- 物の名前が出てこなくなった
- 時間（日付や年齢など）や場所（自宅や子の住む場所）の感覚が不確かになった
- 慣れているところで道に迷った（散歩から家に帰って来られなくなった）
- 財布を盗まれたと言うが、実際には盗まれていない
- 置き忘れやしまい忘れが目立つようになった
- 水道の蛇口やガス栓の締め忘れが目立つようになった
- いつも降りる駅なのに乗り過ごした
- 計算間違いが多くなった
- 病院からもらった薬の管理ができなくなった
- 複雑なテレビドラマの内容が理解できなくなった
- だらしなくなった
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 日課をしなくなった
- 以前はあった関心や興味が失われた
- 以前よりもひどく疑い深くなった







# ／できごと／



## がんゲノム医療連携病院に指定 《令和2年1月》

がんゲノム医療とは、がんの遺伝子を詳しく調べて、その遺伝子異常に応じた治療薬の可能性を探る医療です。

当院は神奈川県立がんセンターと連携・協力してがんゲノム医療を提供しています。  
ご自身が適応になるかなど、まずは主治医にご相談ください。



## JMIP (外国人患者受入れ医療機関認証制度) 認証を取得 《令和2年9月》

JMIPとは、厚生労働省が「外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定された認証制度です。

フロア案内表示や各種同意書、献立表など、さまざまな文書の英語・中国語翻訳を行い、通訳言語の種類や方法の整備、部署間の連携方法なども決定しました。

認証後も、職員一人ひとりが語学や文化への理解を深め、国籍や言語にかかわらず、すべての患者さんが質の高い医療を受けられるよう、病院全体で取り組んでいます。

## 強迫性障害専門外来(精神科)を開設 《令和2年10月》

開設日は毎週月曜の11時～12時からの1時間で、診察は週に1人のみです。  
専門外来の受診にはかかりつけ医の紹介状をご準備ください。

【お問い合わせ】 平日9時～16時 ☎045-628-6372 (精神科外来直通)



## 「4床室で、個室感覚。」4床室Sを開設 《令和2年11月》

「4床室S」とは、横浜港をイメージした爽やかな内装に、お隣のベッドとの間に木製パーテーションを設け、4床室でも落ち着いて、個室感覚で過ごせるお部屋です。

料金は1日3,300円(税込)で、テレビと冷蔵庫が無料でご使用できます。  
(※1泊2日の場合、2日分の料金になります)。

ご希望の方は、入院予約時または入院中でも構いませんのでスタッフにお声かけください。

## 看護部 Instagram を開設 《令和2年11月》

今後は看護師の取り組みを発信している「ナースのブログ」と併せて発信していきます。

ぜひフォローしてください！



ナースのブログ



看護部 Instagram

